Changer KVM-8pro

取扱説明書

http://www.corega.co.jp/

PN J613-M7072-00 Rev.A 010410

安全のために

必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

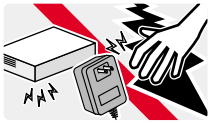
分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
火災や感電、けがの原因となります。

分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときは
さわらない

異物は入れない　水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)

異物厳禁

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。

設置場所
注意

交流 100V の電源でお使いください

異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

電圧注意

付属の AC アダプター以外で使用しない

火災や感電の原因となります。
必ず、付属の AC アダプターを使用してください

付属品を
使え

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

たこ足禁止

ＡＣ アダプターのコードを傷つけない

火災や感電の原因となります。

傷つけない

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。

プラグを抜け

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度 80%以下の環境でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

ぬらすな　中性洗剤使用　堅く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）

シンナー類不可

目次

0. 内容物をご確認ください 5
0.1. 同梱品の確認 5
0.2. オプションについて 5
1. 概要 6
1.1. 特長 6
1.2. 対応するハードウェアについて 6
1.3. 各部の名称と働き 7
2. パソコンの接続 9
2.1. 接続の前に 9
2.2. １台で使用する場合 9
2.3. カスケード (2 段階) 接続する場合 10
2.4. カスケード (3 段階) 接続する場合 12
2.5. ホットプラグについて 14
2.6. 電源のオン／オフについて 15
3. パソコン (CPU ポート) の切り換え方 16
3.1. ポート ID 番号について 16
3.2. 手動での切り換え 16
3.3. ホットキーでの切り換え 17
3.4. OSD での切り換え 17
4.OSD での切り換え 18
4.1.OSD メインメニュー画面の表示 18
4.2.OSD での基本操作 19
4.3.[F1]GOTO 19
4.4.[F2]SCAN 19
4.5.[F3]LIST 20
4.6.[F4]QV 20
4.7.[F5]EDIT 21
4.8.[F6]SET 21
4.9.OSD 用のパスワードの設定 22
5. 本体の積み重ねやラックへの取り付け 24
5.1. 積み重ねについて 24
5.2. ラックへの取り付けについて 24
A. 付録 25
A.1.KVM とパソコンの接続表 25
A.2. ホットキー一覧表 25
A.3. トラブルシューティング 26
A.4.KVM-8pro の仕様 27
A.4. おことわり 28
･保証と修理について 28
･保証について 28
･修理について 28
･ユーザーサポートについて 29
製品保証規定 32
製品保証書 (６ヶ月保証) 33

0．内容物をご確認ください

0.1．同梱品の確認

本製品パッケージの内容は、下記の通りです（下記以外に添付紙が同梱されている場合があります）。お買い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

- corega Changer KVM-8pro 本体　１台
- AC アダプター　１個
- ラックマウント取り付け金具　１式
- 取扱説明書　１冊

0.2．オプションについて

corega Changer KVM-8pro とパソコンを接続するには下記の専用ケーブルが必要です。

- KVMCBL180　長さ 1.8m の KVM 専用ケーブルです。
- KVMCBL300　長さ 3mの KVM 専用ケーブルです。

また、パソコンのキーボード・マウスが USB 接続の場合、KVM 専用ケーブルとの間に変換ケーブルが必要です。

- corega USB KM　PS/2 と USB の変換ケーブルです。

1．概要

1.1．特長

corega Changer KVM-8pro(以降 KVM と略します) は、ひと組のコンソール (モニター・キーボード・マウス) で、多数のパソコンにアクセスすることができる CPU 切換器です。
それぞれのパソコンにコンソールを用意する必要がなく、費用の削減やスペースの有効利用などを可能にします。

- **最大 512 台までのパソコンを接続**
  ３段階までのカスケード接続により、ひと組のコンソールで最大 512 台のパソコンをコントロールできます。
  参照→ 12 ページ
- **３つの方法でパソコンを切り換え**
  本体のプッシュボタン、ホットキーによるキーボード操作、OSD(オンスクリーンディスプレイ) と３つの方法でパソコンの切り換えが可能。ソフトウェアをインストールしなくても、用途に合わせて効率的な方法を選択することができます。
  参照→ 16 ページ
- **ホットプラグ対応**
  ホットプラグ対応のため、メンテナンス時にパソコンの追加や取り外しで KVM の電源を切る必要がありません。
  参照→ 14 ページ

1.2．対応するハードウェアについて

KVM との接続が可能なハードウェアの環境は以下のようになります。
[コンソール]
- パソコン用 Multisync モニター（最大解像度 1920 × 1440）
- PS/2 マウスと PS/2 キーボード

[パソコン]
- OADG 仕様 DOS/V 機

[ケーブル]
KVM とパソコンを接続するため、下記の KVM 専用ケーブルが別途必要になります。
- KVMCBL180(1.8m)、または KVMCBL300 (3m)

- 本製品の電源が入っている状態では、接続されているモニターの省電力機能が動作しない場合があります。

1.3. 各部の名称と働き

図 1.1 と図 1.2 で KVM の各部の名称と主な働きについて説明します。

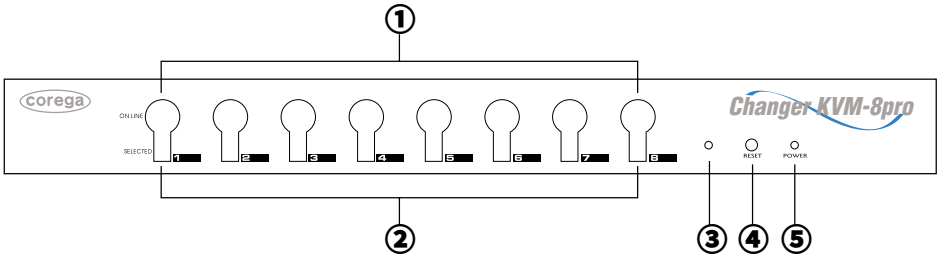


図 1.1　KVM 正面図

① ポート用 LED

上の LED（緑）：接続されているパソコンの電源がオンの場合に点灯します。ポートがカスケード接続で他の KVM に接続されている場合にはランプが点滅します。

下の LED（赤）：赤色のランプが点灯する場合は、そのポートが現在選択されていることを示します。ポートがオートスキャンモードの場合にはランプが点滅します。

② ポート切り換えボタン

ポートに接続されているパソコンを切り換えるためのボタンです。

- ポートを選択する場合は１～８のいずれかのボタンを押します。
- １と２のボタンを同時に押すと、キーボードとマウスがリセットされます。
- ７と８のボタンを同時に押すと、オートスキャンモードが開始されます。

③ ブザー

ブザー音を発します。

④ リセットボタン

ウォームブートリセットをする場合に押します。３秒以上押し続けるとコールドブートリセットされます。

リセットボタンを押す場合は、クリップなどのような先の細いものを使用してください。

⑤ パワー LED

KVM の電源がオンのときに点灯します。

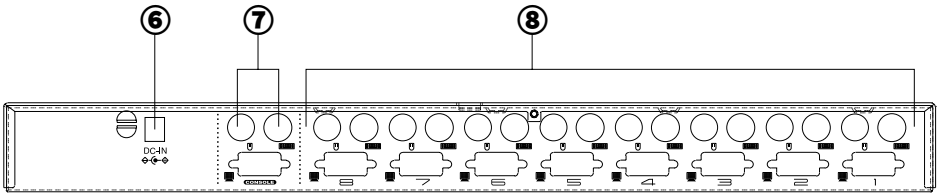


図 1.2　KVM 背面図

⑥ 電源コネクター
付属の AC アダプターのプラグを差し込みます。
KVM は接続されたパソコンから電源が供給されますが、カスケード接続をする場合やパソコンからの電源供給が不安定な場合は、付属の AC アダプターを使用してください。

⑦ コンソールポート
指定されたコネクターに、モニター・キーボード・マウス、それぞれのケーブルを接続します。
カスケード接続の場合は、上段階にある CPU ポートからの KVM 専用ケーブルを接続します。

⑧ CPU ポート
1 ～ 8 のポートそれぞれに、使用するパソコンの KVM 専用ケーブルを接続します。

2．パソコンの接続

2.1．接続の前に

- 接続を開始する前に、必ず、接続するすべての機器の電源がオフになっていることを確認し、電源コードをすべて抜いてください。
- パソコンやデバイスの損傷などを防ぐために、すべてのデバイスが正しくインストールされているかどうかを確認してください。

2.2．１台で使用する場合

カスケード接続をせずに、KVM １台で使用する場合の接続方法について説明します。１台の KVM に８台までのパソコンを接続することができます。

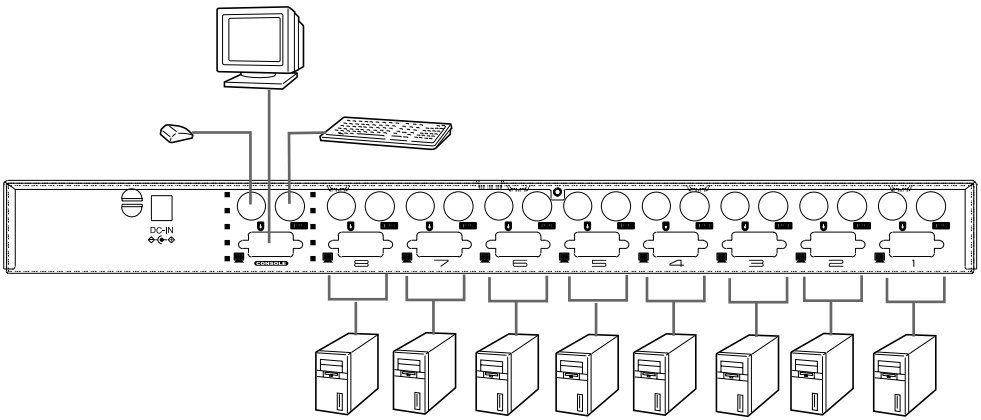


図 2.1　接続図 (1 台)

(1) 接続するすべての機器の電源をオフにします。

(2) 使用するパソコンに KVM 専用ケーブルを接続します。

(3) コンソールポートのコネクターにモニター・キーボード・マウス、それぞれのケーブルを接続します。図 2.1　参照

(4) CPU ポートのモニター・キーボード・マウスのコネクターに、使用するパソコンに接続してある KVM 専用ケーブルを接続します。図 2.1　参照

(5) AC アダプターを使用する場合は、電源コネクターに AC アダプターを接続し、AC アダプターのプラグを電源コンセントに差し込みます。

- AC アダプターを使用しない場合、KVM にはキーボードとマウスケーブルを通して電源が供給されます。ただし、使用するパソコンから５ V に満たない 3.3V の電源しか供給されないとき (ノートパソコンなど) は、AC アダプターで外部電源を供給する必要があります。

(6) 接続しているすべてのパソコンの電源をオンにします。

・AC アダプターを使用する場合は、パソコンの電源をオンにする前に AC アダプターを KVM に接続してください。

2.3. カスケード (2 段階) 接続する場合

1 台の KVM に他の KVM を 2 段階でカスケード接続した場合、最大 64 台までのパソコンを接続することができます。
64 台のパソコンを接続する場合は、図 2.4　のように 1 ～ 8 の CPU ポートすべてに、他の KVM(8 台) を接続します。次にそれぞれの KVM にパソコンを 8 台ずつ接続します。

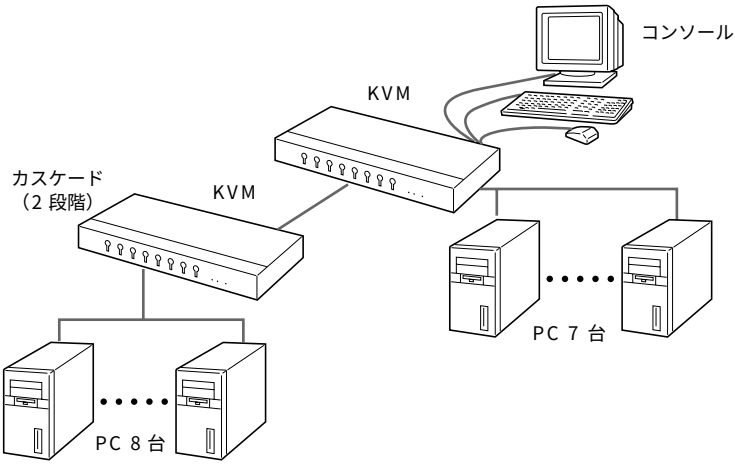


図 2.2　カスケード (2 段階) 接続 15 台の例

・カスケード接続をする場合は同機種の KVM を使用してください。異なった機種を使用すると、ホットキーや OSD による CPU ポート切換えが行えません。

(1) 接続するすべての機器の電源をオフにします。
　1 段階目で AC アダプターを使用している場合は、電源コネクターからプラグを外してください。

(2) 2 段階目で使用するパソコンに KVM 専用ケーブルを接続します。

(3) 1 段階目の CPU ポート (1 ～ 8 のいずれか) と、2 段階目の KVM のコンソールポートを KVM 専用ケーブルで接続します。図 2.3　参照

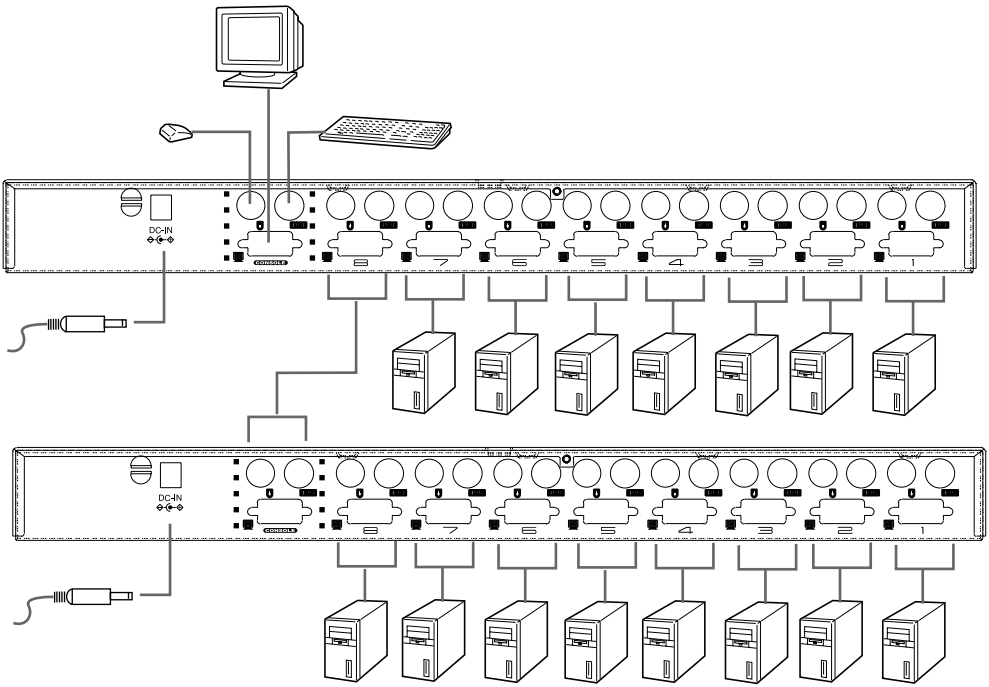


図 2.3　カスケード接続

(4) ２段階目の CPU ポートのモニター・キーボード・マウスのコネクターに、使用するパソコンに接続してある KVM 専用ケーブルを接続します。図 2.3　参照

(5) ２段階目の KVM、それぞれの電源コネクターに AC アダプターを接続し、AC アダプターのプラグを電源コンセントに差し込みます。

(6) １段階目の KVM の電源コネクターに AC アダプターを接続し、AC アダプターのプラグを電源コンセントに差し込みます。

(7) 接続しているすべてのパソコンの電源をオンにします。

⚠

• カスケード接続では、必ず、下記の順序で電源をオンにしてください。

(1)２段階目の KVM の電源をオンにします。

(2)１段階目の KVM の電源をオンにします。

(3)すべてのの KVM の電源がオンになってから、各パソコンの電源をオンにします。

2.4. カスケード (3 段階) 接続する場合

KVM は３段階目までのカスケード接続が可能です。たとえば、図 2.4　のように２段階目の KVM を８台にし、それぞれの CPU ポートに他の KVM を３段階 (合計 64 台) でカスケード接続した場合、最大 512 台までのパソコンを接続することができます。

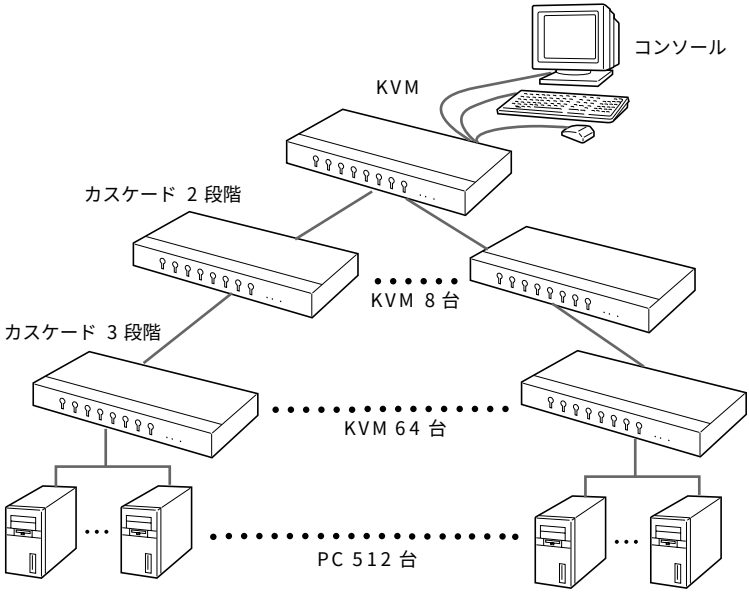


図 2.4　カスケード (3段階) 接続 512 台の例

- カスケード接続をする場合は同機種の KVM を使用してください。異なった機種を使用すると、ホットキーや OSD による CPU ポート切換えが行えません。

(1) 接続するすべての機器の電源をオフにします。
１段階目、２段階目で AC アダプターを使用している場合は、それぞれの電源からプラグを外してください。

(2) ３段階目で使用するパソコンに KVM 専用ケーブルを接続します。

(3) ２段階目の CPU ポート (1 ～８のいずれか) と、２段階目の KVM のコンソールポートを KVM 専用ケーブルで接続します。図 2.5　参照

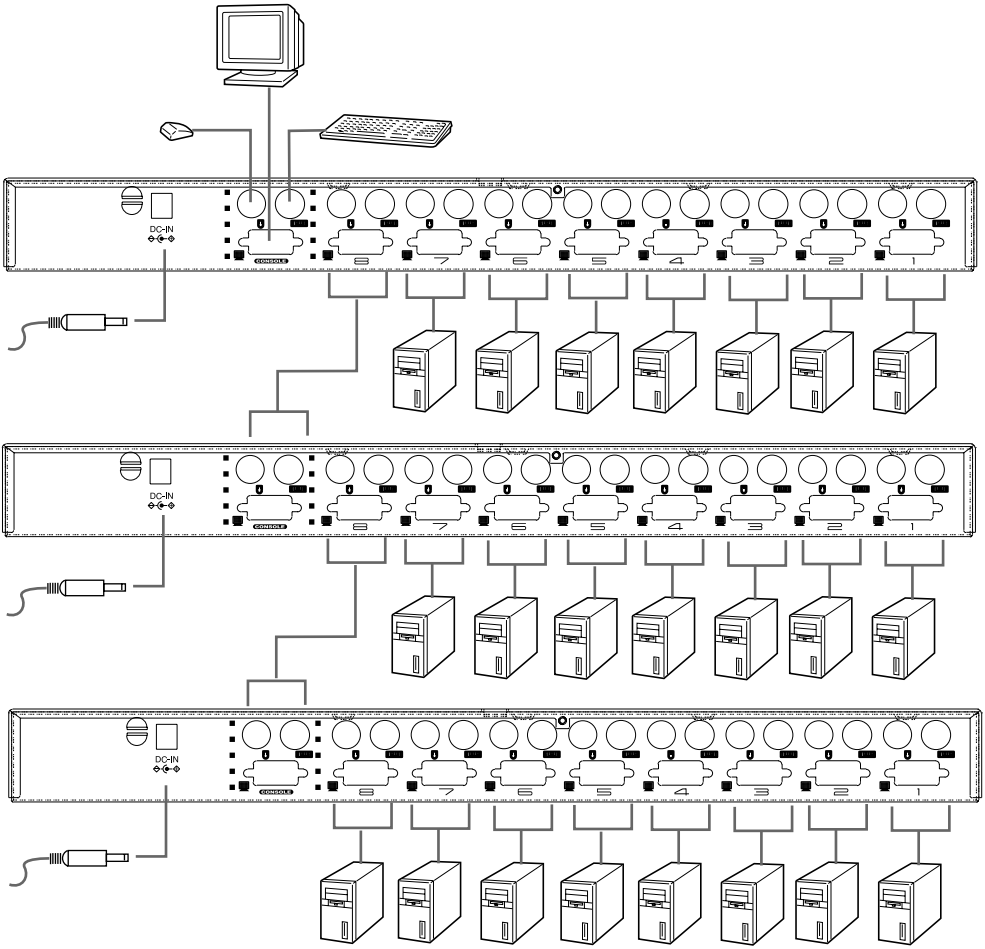


図 2.5　カスケード接続

(4) ３段階目の CPU ポートのモニター・キーボード・マウスのコネクターに、使用するパソコンに接続してある KVM 専用ケーブルを接続します。図 2.5　参照

(5) ３段階目の KVM、それぞれの電源コネクターに AC アダプターを接続し、AC アダプターのプラグを電源コンセントに差し込みます。

(6) ２段階目の KVM、それぞれの電源コネクターに AC アダプターを接続し、AC アダプターのプラグを電源コンセントに差し込みます。

(7) １段階目の KVM の電源コネクターに AC アダプターを接続し、AC アダプターのプラグを電源コンセントに差し込みます。

(8) 接続しているすべてのパソコンの電源をオンにします。

• 3段階のカスケード接続では、必ず、下記の順序で電源をオンにしてください。

(1)3段階目の KVM の電源をオンにします。

(2)2段階目の KVM の電源をオンにします。

(3)1段階目の KVM の電源をオンにします。

(4)すべての KVM の電源がオンになってから、各パソコンの電源をオンにします。

2.5. ホットプラグについて

KVM はホットプラグに対応しています。そこでモニター・キーボード・マウスの取外しや追加の際、KVM の電源をオフする必要がなく、CPU ポートからケーブルを抜き差しするだけで可能です。また、ホットプラグを正しく作動させるには、下記のような点に注意してください。

[コンソールポートのホットプラグ]

- コンソールポートからマウスを外して、再度同じ マウスを接続する場合、そのまま同じマウスを使用することができます。
- コンソールポートからマウスを外して、別のマウ スを接続する場合は、下記の作業が必要になります。

(1) すべての KVM とパソコンを 10 秒間シャットダウンさせます。

(2) すべての KVM とパソコンを再起動します。
15 ページの「電源のオン／オフについて」を合わせて参照してください。

• ホット プラグ後など、マウスやキーボード が正しく反応しなくなった場合は、1段階目の KVM のポートセレクトボタンの1と2を同時に押しながら（ 3秒間) キーボードとマウスをリセットしてください。

[CPU ポートのホットプラグ]

- CPUポートからケーブルを抜いて差し直す場合は､抜く前と同じポートにケーブルを差し込みます。
- マウスケーブルはキーボードケーブルより先に差し込みます。
- ケーブルを再度差し込んだ後、1段階目の KVM をリセットする必要があります。この場合、本体のリセットボタンを押してください。

2.6. 電源のオン／オフについて

１台の KVM の電源をオフにする必要がある場合は、以下の手順に従ってください。

(1) １段階目の KVM に接続されたすべてのパソコンの電源をオフにします。次にカスケード接続されているすべての KVM とパソコンの電源をオフにします。

- キーボードパワーがオンになる機能を持つパソコンの場合は、電源コードをすべて抜いてください。抜かない場合、KVM にはパソコンから電源が供給されます。

(2) 10 秒間待機後、カスケード接続された最後の段階の KVM から電源をオフにしたときと同じ順序で KVM の電源をオンにしていきます。

(3) すべての KVM の電源がオンにした後、カスケード接続された最後の段階のパソコンから電源をオフにしたときと同じ順序で電源をオンにしていきます。

3．パソコン (CPU ポート) の切り換え方

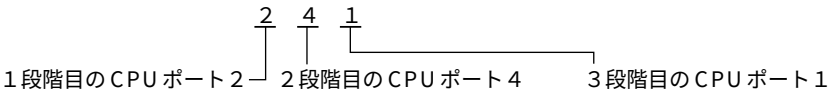
ポートを指定してパソコンを切り換えるには、「手動切換」「ホットキー」「OSD(オンスクリーンディスプレイ)」という３つの方法があります。

3.1．ポート ID 番号について

CPU ポートは、ポート ID 番号が決められています。ホットキーや OSD メインメニューでは、ポート ID 番号を指定し、どの段階に接続されているパソコンでも切り換えることができます。

ポート ID 番号は、次のようにカスケード接続の段階によって最大三桁の数字で表されます。
KVM が１台で使用されている場合は一桁、２段階のカスケード接続の場合は二桁、３段階のカスケード接続の場合は三桁になります。また、各桁の１～８の数字は CPU ポートの番号です。

ポート ID 番号が三桁の例



- **KVM が１台の場合　例：ポート ID 番号「2」**
  KVM が１台の場合、CPU ポート２に接続されているパソコン。

- **カスケード接続 (２段階) の場合　例：「23」**
  ２段階のカスケード接続で、１段階目の CPU ポート２に２段階目の KVM がカスケードされ、２段階目の CPU ポート３に接続されているパソコン。

- **カスケード接続 (３段階) の場合　例：「241」**
  ３段階のカスケード接続で、１段階目の CPU ポート２に２段階目の KVM が、さらにその２段階目の CPU ポート４に３段階目の KVM がカスケードされ、３段階目の CPU ポート１に接続されているパソコン。

3.2．手動での切り換え

KVM の正面にあるポート切り換えボタンを押してパソコンを切り換える方法です。

(1) 切り換えたいパソコンが接続されたポート切り換えボタンを押します。
　　ポート用ランプ (下) が赤色で点灯します。

- カスケード接続で、2 段階目、3 段階目のパソコンに切り換える場合は各段階の切り換えボタンを押してください。1 段階目のポートは切り換える必要がありません。

3.3. ホットキーでの切り換え

ホットキーは、キーボードで [Ctrl][Alt][Shift] キーと押した後、ポート ID 番号を指定してパソコンを切り換える方法です。手順は以下のようになります。
ポート ID 番号の見方については、16 ページ「ポート ID 番号について」を参照してください。

- **KVM が 1 台の場合　例：ポート ID 番号「5」**
  [Ctrl]-[Alt]-[Shift] 5 [Enter]

- **カスケード接続 (2 段階) の場合　例：ポート ID 番号「23」**
  [Ctrl]-[Alt]-[Shift]23[Enter]

- **カスケード接続 (3 段階) の場合　例：ポート ID 番号「241」**
  [Ctrl]-[Alt]-[Shift]241[Enter]

- ポート ID 番号の数値は、テンキーからではなく数字キーから入力してください。
- 各キーは同時にではなく、下記の順番で続けて押します。
  [Ctrl]-[Alt]-[Shift]- ポート ID 番号 -[Enter]
  それぞれのキーは 1 秒間隔以内で入力してください。

3.4. OSD での切り換え

18 ページ「OSD での切り換え」で詳しく説明しています。

4. OSD での切り換え

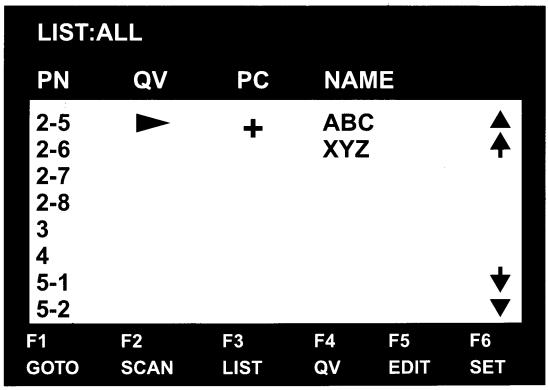
OSD(オンスクリーンディスプレイ) は、画面のメニュー操作によりパソコンを切り換えるためのインタフェースです。カスケード接続により、パソコンの台数が多くなった場合などに便利な機能です。

4.1. OSD メインメニュー画面の表示

下記の手順で OSD メインメニュー画面を表示します。
(1) [Ctrl] キーを 2 回押します。

- [Ctrl] キーは、左右どちらか、同じ側のキーを押してください。
- ホットキーを [Scroll Lock] キーに変更している場合は、[Scroll Lock] キーを 2 回押してください。参照 21 ページ「[F6]SET」

下記のようなメニュー画面が表示されます。



[メニューの見方]

- **PN**
  ポート ID 番号を示します。
  参照→ 16 ページ「ポート ID 番号について」
- **QV**
  クイックビュースキャンの対象となるポートを ▶ マークで示します。
- **PC**
  接続されているパソコンが電源オンであることを＋マークで示します。
- **NAME**
  CPU ポートに名前が設定されている場合、その名前を表示します。
  参照→ 21 ページ「[F5]EDIT」
- **ファンクションキー**
  各ファンクションキーを押すと、サブメニューを使ってポートの切り換えやスキャン、設定の変更などをすることができます。詳しくは各ファンクションキーの説明を参照してください。

[F1]GOTO

ポートを切り替えるときに選択します。

参照→ 19 ページ「[F1]GOTO」

[F2]SCAN
クイックビュースキャンでポートを切り換えるときに選択します。

参照→ 19 ページ「[F2]SCAN」

[F3]LIST
クイックビュースキャンの検索条件を設定するときに選択します。

参照→ 20 ページ「[F3]LIST」

[F4]QV
クイックビュースキャンの対象になるポートを設定するときに選択します。

参照→ 20 ページ「[F4]QV」

[F5]EDIT
ポートの名前を設定・変更するときに選択します。

参照→ 21 ページ「[F5]EDIT」

[F6]SET
OSD の設定を変更するときに選択します。

参照→ 21 ページ「[F6]SET」

4.2. OSD での基本操作

- **ポートの切り換えについて**
  [F1]GOTO によるポートの切り換えと、ハイライトバーを切り換えたいポートに移動して [Enter] を押すことにより切り換えることができます。またホットキーでも切り換え (17 ページ) 操作が可能です。
- **メニューを閉じる**
  [Esc] キーを押すと、サブメニューを閉じます。メインメニューがアクティブの場合には OSD を終了します。
- **画面のスクロール**
  メインメニュー画面のリストを一行ずつスクロールさせる場合は↑↓キーを押します。
  メインメニュー画面を 1 画面ごとにスクロールさせる場合は [Page Up][Page Down] キーを押します。

4.3. [F1]GOTO

[F1] キーを押すと、次の 2 つうち、いずれかの方法で切り換えるポートを選択することができます
- ポート ID 番号を指定して切り換え
- ポートの名前を指定して切り換え

- GOTO では特定の名前を検索してリストに表示することができます。例えば、最初の文字を a と入力すると、名前が a から始まるポートだけを、ab と入力すると ab で始まるポートだけを表示します。

4.4. [F2]SCAN

下記の手順でクイックビュースキャンを使って、切り換えるポートを選択することができます

(1) [F2] キーを押すとクイックビュースキャンが開始されます。
表示されるリストは [F3]LIST で指定されている範囲になります。また、スキャン中の表示時間は [F6]SET で設定されている時間になります。

(2) 切り換えたいポートが表示されたら、[空白] キーを押してスキャンを停止します。

(3) 切換えたいポートにハイライトバーを移動して［Enter］キーを押します。

- スキャン中はポート ID 番号の前に [S] マークが表示されます。
- 空いているポートや接続しているパソコンの電源がオフのポートで、ストップするとモニターのスクリーンには何も表示されず、マウスとキーボードは使用できません。元の状態に戻すには、「ホットキーでの切り換え」の手順で、アクティブなパソコンのポート ID 番号を指定してください。

4.5. [F3]LIST

クイックビュースキャンを実行する際の検索条件を設定することができます。

(1) [F3] キーを押すとサブメニューが表示されます。

- **ALL**
  パソコンが接続されているすべてのポート ID 番号や名前を表示します。
- **QVIEW**
  [F4]QV でクイックビュースキャンの対象として設定されているポートのみを表示します。
- **POWERED ON**
  接続されたパソコンの電源がオンになっているポートのみを表示します。
- **POWERED ON ＋ QVIEW**
  [F4]QV でクイックビュースキャンの対象として設定されているポートのうち、パソコンの電源がオンになっているポートのみを表示します。
- **QVIEW ＋ NAME**
  [F4]QV でクイックビュースキャンの対象として設定されているポートのうち、名前が設定されているポートのみを表示します。
- **NAME**
  名前が設定されているポートのみを表示します。

(2) サブメニューで設定したい項目を選択し、[Enter] キーを押します。

4.6. [F4]QV

下記の手順で、[F2]SCAN で実行するクイックビュースキャンの対象となるポートを設定します。

(1) クイックビュースキャンの対象にするポートにハイライトバーを合わせます。
(2) [F4] キーを押します。
QV 欄に ▶ マークがついてクイックビュースキャンの対象であることを示します。
設定を解除するときは、解除するポートにハイライトバーを合わせて [F4] キーを押します。

4.7. [F5]EDIT

各ポートに名前を付けておくと、切り換えるパソコンなどを探しやすくなります。以下の手順でポートに名前を設定したり、変更することができます。

(1) 名前を設定・変更したいポートにハイライトバーを合わせます。

(2) [F5] キーを押します。

(3) 名前を入力、または修正・削除します。
ポートの名前に使用できる文字数の最大 15 文字までで、下記の文字を使用することができます。
- すべてのアルファベット：A － Z
- すべての数字：0 － 9
- 記号「+」「−」「/」「：」「.」およびスペース

⚠
- 入力したアルファベットは全て大文字として認識されます。
- キー配列は 101 キーボードとして認識されますので日本語キーボードをお使いの場合は記号の入力にご注意ください。
  入力文字　キーボード
  「+」→ Shift＋「＾」
  「−」→ 同じ「−」
  「／」→ 同じ「／」
  「：」→ 「+」(Shift＋「；」)
  「.」→ 同じ「.」

(4) 設定後 [Enter] キーを押します。

4.8. [F6]SET

下記の手順で OSD の初期設定を変更することができます。
(1) [F6] キーを押します。
(2) サブメニューで変更したい項目を設定します。
ポインタのアイコンは、現在設定中の内容を示しています。

- **CHANNEL DISPLAY MODE**
  ポート情報の表示項目を下記から選択します。
  ポート番号＋ CPU ポートの名前 (PN ＋ NAME)；ポート番号のみ (PN)；CPU ポートの名前のみ (NAME)
  初期設定＝ポート番号＋ CPU ポートの名前
- **CHANNEL DISPLAY DURATION**
  ポート ID 番号を CPU のポートを変更してから、どのくらいの間表示するかを設定します
  ３秒；常にオン
  初期設定＝常にオン
- **CHANNEL DISPLAY POSITION**
  スクリーン上でのポート ID の表示位置を設定します。矢印、Page Up、Page Down、Home、End、5（Num Lock をオフにしたテンキー）で、ポート ID 表示の位置を移動し、[Enter] キーを押して位置を固定後、設定のサブメニューに戻ります。
  初期設定＝ 3 秒間

- **SCAN DURATION**
  クイックビュースキャンモードで選択したポートの表示時間を、下記のいずれかで設定します。
  3,5,10,15,20,30,40,60 秒
  初期設定＝ 3 秒間

- **OSD ACTIVATING HOTKEY**
  OSD のメインメニューを表示するためのホットキーを選択します。
  [Ctrl] [Ctrl] または [Scroll Lock] [Scroll Lock]。
  初期設定では [Ctrl] キーの組み合わせになっていますが、この組み合わせでパソコンのプログラムの作動中にコンフリクトを起こす場合は、[Scroll Lock] キーを使用するように変更してください。

- **SET PASSWORD**
  以下の機能を利用する際、パスワードを設定することができます。
  Name Listの消去；初期設定値を元に戻す；コンソールのロックまたはアンロック
  22 ページ「OSD 用のパスワードの設定」を合わせて参照してください。

- **CLEAR THE NAME LIST**
  リストからすべてのポートの名前を消去します。この場合、確認のメッセージが表示されるので、[Y] キーを入力して [Enter] キーを押すと消去が実行されます。消去中と消去後は、その旨を示すメッセージが表示されます。

- **RESTORE DEFAULT VALUES**
  すべての設定を、ユニットメーカー出荷時の初期設定に戻します。この場合、確認のメッセージが表示されるので、[Y] キーを入力して [Enter] キーを押すと初期設定が実行されます。実行中と実行後は、その旨を示すメッセージが表示されます。

- **LOCK CONSOLE**
  コンソールをロック／アンロックします。コンソールをロックすると、現在選択されているモニターのスクリーンのみが表示され、コンソールでの情報入力や他のポートへの切り換えができなくなります。
  パソコンを切り換えるにはアンロックします。パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力が必要です。パスワードが設定されていない場合は [Enter] キーを押します。

4.9. OSD 用のパスワードの設定

パスワードを設定しておくと、OSD のメインメニューを表示する際にパスワードの入力が必要になります。OSD の設定でセキュリティを確保したい場合は、パスワードを設定しておくことをおすすめします。パスワードは下記の手順で設定します。

(1) [CtrL] キーを２回押して、OSD のメインメニューを表示します。

(2) [F6] キーを押して SET 用のサブメニューを表示します。

(3) ハイライトバーをパスワードの設定 (Set Password) に合わせ、[Enter] キーを押します。

(4) 現在のパスワードを入力して [Enter] を押します。(初期設定は何も入っていません)

(5) 新しいパスワードを入力して [Enter] キーを押します。
  新しいパスワードは８文字以内で、アルファベットと数字を組み合わせてください。(A ～ Z、0 ～ 9)。

(6) 確認のため再度新しいパスワードを入力して [Enter] キーを押します。
設定が完了すると「SET PASSWORD OK」のメッセージが表示されます。「PASSWORD NOT MATCH」と表示された場合は、入力に間違いがあるため、パスワードを入力し直してください。

- 以前のパスワードを修正・削除する場合は、上記の手順 4. で、[Backspace] キーか [Delete] キーでパスワードを削除してください。
- パスワードを忘れると OSD の操作ができなくなりますので、パスワードを忘れないようご注意ください。

5．本体の積み重ねやラックへの取り付け

KVM 本体を積み重ねたり、ラックに取り付けることができます。

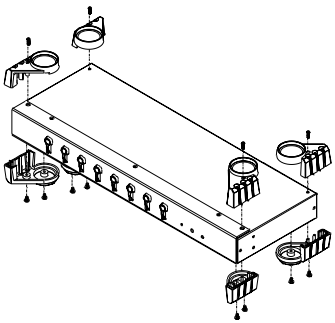
5.1．積み重ねについて

KVM 本体には、あらかじめ積み重ね用のプラスチックの台座が取り付けられています。上の台座は凸面、下の台座は凹面の形状をしています。
積み重ねる場合は、下に置く KVM の上の台座と、上に置く KVM の下の台座をかみ合わせて置くようにしてください。

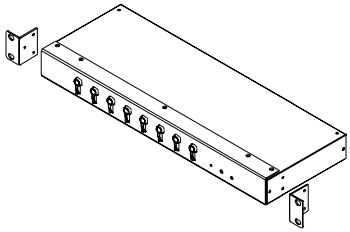
5.2．ラックへの取り付けについて

ラックに取り付けるときは、下記の手順で付属のラックマウント取り付け金具を使用します。

(1) 始めに積み重ね用の台座を KVM 本体から取り外します。この場合、下図に示すネジを外します。



(2) 下図を参考に KVM の正面寄りの両側に、ラックマウント取り付け金具をネジで取り付けます。



(3) KVM をラックに収納し、ネジで固定します。

A. 付録

A.1. KVM とパソコンの接続表

以下の表は、KVM の台数と接続できるパソコンの台数を示しています。

単位：台

KVM	パソコン	KVM	パソコン	KVM	パソコン	KVM	パソコン
1	8	20	134-141	39	267-274	58	400-407
2	8-15	21	141-148	40	274-281	59	407-414
3	15-22	22	148-155	41	281-288	60	414-421
4	22-29	23	155-162	42	288-295	61	421-428
5	29-36	24	162-169	43	295-302	62	428-435
6	36-43	25	169-176	44	302-309	63	435-442
7	43-50	26	176-183	45	309-316	64	442-449
8	50-57	27	183-190	46	316-323	65	449-456
9	57-64	28	190-197	47	323-330	66	456-463
10	64-71	29	197-204	48	330-337	67	463-470
11	71-78	30	204-211	49	337-344	68	470-477
12	78-85	31	211-218	50	344-351	69	477-484
13	85-92	32	218-225	51	351-358	70	484-491
14	92-99	33	225-232	52	358-365	71	491-498
15	99-106	34	232-239	53	365-372	72	498-505
16	106-113	35	239-246	54	372-379	73	505-512
17	113-120	36	246-253	55	379-386		
18	120-127	37	253-260	56	386-393		
19	127-134	38	260-267	57	393-400		

A.2. ホットキー一覧表

組み合わせ	結果
[Ctrl] + [Ctrl]	OSD メインメニューの表示（初期設定）
[Scroll Lock] + [Scroll Lock]	OSD メインメニューの表示（変更した場合）
[Ctrl] + [Alt] + [Shift] [ポート ID] [Enter]	ポート ID 番号でのパソコンの切り換え
[Ctrl] + [Alt] + [Shift] [0] [Enter]	オートスキャンモードの開始

A.3. トラブルシューティング

症状	原因	処置
動作が不安定な場合	KVM への電力供給が不十分	KVM 付属の AC アダプターを外部電源として使用してください。
ホットキーを押しても、反応がない場合	選択したポートにパソコンが接続されていない。またはパソコンの電源がオフになっている	選択したポートの LED 表示が点灯しているかどうかを確認します。点灯していない場合は、下記の操作をしてください。 ・接続されたパソコン (電源オン) のポート切り換えボタンを押します。 ・ケーブルがすべて正しく接続されているかどうかを確認してください。
	対応していないキーボードのリセットが必要	・１段階目の KVM のポート切り換えボタン 1 と 2 を同時に３秒間押してキーボード（マウス）をリセットしてください。 ・コンソールポートからキーボードのコネクターを抜き、もう一度差し込んでください。
	対応していない KVM のリセットが必要	KVM の電源をオフにして、再び電源をオンにする前に５秒間待ちます。 15 ページ「電源のオン／オフについて」
	ポート ID 番号が不正確	[Ctrl]-[Alt]-[Shift] キーの後に正しいポート ID 番号を入力して [Enter] キーを押します。それぞれの入力は１秒以内で行ってください。
マウスが反応しない場合	対応していないマウスのリセットが必要	・１段階目の KVM のポート切り換えボタン 1 と 2 を同時に３秒間押してキーボード（マウス）をリセットしてください。 ・コンソールポートからマウスのコネクターを抜き、もう一度差し込んでください。

A.4. KVM-8pro の仕様

機能		仕様
最大パソコン接続数	ダイレクト接続時	8 台
	カスケード接続時	512 台
ポート選択		ポート切り換えボタン ホットキー オンスクリーンディスプレイ（OSD）
LED	パワー	1（青）
	オンラインポート	8（緑）
	選択ポート	8（赤）
コンソール用 コネクター	キーボード用	ミニ DIN6 ピンメス (PS/2 スタイル) × 1　コンソール側 ミニ DIN6 ピンメス (PS/2 スタイル) × 8　CPU ポート側
	マウス用	ミニ DIN6 ピンメス (PS/2 スタイル) × 1　コンソール側 ミニ DIN6 ピンメス (PS/2 スタイル) × 8　CPU ポート側
	モニター用	ミニ D ー sub15 ピンメス (std.VGA/SVGA) × 1 コンソール側 ミニ D ー sub15 ピンオス (std.VGA/SVGA) × 8　CPU ポート側
スキャンインターバル（OSD で選択）		3、5、10、15、20、30、40、60 秒
電源仕様		DC9V；1.08W（最大）
保存時温度		ー 20 ～ 60 ℃
保存時湿度		95%以下（結露なきこと）
動作時温度		0 ～ 40 ℃
動作時湿度		80% 以下（結露なきこと）
外形寸法		483（W）× 150（D）× 44.5（H） （単位 mm、突起物含まず） EIA ワイドピッチ 1U サイズ
重量		2.850g（AC アダプター含まず）

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2001 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの商標です。
Windows、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

2001 年 4 月 Rev.A 初版

保証と修理について

保証について

本書に記載されている、「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で製品を保証するということ ではありません。正しい使用法で使用した場合のみ、保証の対象となります。また、物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。詳しくは、本書に記載されている「製品保証規定」をお読みください。また、本製品（ドライバーディスクは除く）の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

修理について

故障と思われる現象が発生した場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、巻末の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、保証書を添付し、弊社サポートセンター宛に製品をお送りください。

製品を送られる場合は、次の点にご注意ください。

- 弊社サポートセンターへ製品を送られる場合の送料につきましては、送り主様のご負担とさせていただきます。
- なお輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。（普通郵便による送付は、固くお断りいたします。）
- 修理期間は、製品到着後 10 日程度（弊社営業日数）を予定しております。
- 誠に申し訳ございませんが、直接来社されてのサポート依頼は受付けておりませんので、製品は必ず宅配便などでお送りください。

製品送付先
〒 222-0033　横浜市港北区新横浜 1-19-20
（株）コレガ　corega サポートセンター宛

ユーザーサポートについて

障害回避などのユーザーサポートは、巻末の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号まで FAX してください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAX によって詳細な情報を送付していただくほうが、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入のお願い」をご覧ください。

Tel: 045-476-6268
月～金（祝・祭日を除く）
10:00-12:00、13:00-17:00
Fax: 045-476-6294

なお、電子メールによるサポートは行っておりませんので、ご了承ください。

調査依頼書（ corega Changer KVM-8pro　1/2）　年　月　日

一般事項

1. 会社名（個人名）：　　フリガナ：
   部署名：　　ご担当者：
   ご連絡先住所：〒

   TEL:　(　　)　　FAX:　(　　)
2. 購入先：　　購入年月日：
   購入先担当者：　　連絡先（TEL）：　(　　)

ハードウェアとソフトウェア

1. ご使用のハードウェア機種（製品名）、シリアル番号、リビジョン

   製品名：corega Changer KVM-8pro

2. ご使用のコンピュータ機種と併用している他メーカーの拡張アダプター（ボード）
   コンピュータのメーカ名／機種
   OS とバージョン
   拡張アダプターのメーカー名／機種

お問い合わせ内容

□別紙あり　□別紙なし
□設置中に起こっている障害　□設置後、運用中に起こっている障害

調査依頼書（ corega Changer KVM-8pro　2/2）　年　月　日

接続構成

　　□別紙あり　　□別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

製品保証規定

■この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取り扱い説明書などにしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず故障が発生した場合に、無償修理をお約束するものです。

- ハードウェア本体：製品保証書に記載の保証期間で無償保証とします。（ただし、本規定の他の条項に準じます。）
- AC アダプター：3ヶ月

■保証期間内の無償修理は、故障製品を弊社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。表面の製品保証書に記載された「製品保証に関するお問い合わせ先」まで故障製品を送付してください。送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。

■保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていただきます。（ただし、無償修理の適用外であっても有料での修理または代替品への交換・サービスはご利用いただけます。）

1. 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
2. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などの外部要因によって生じた故障および損傷
4. 接続された他の機器が原因で生じた故障および損傷
5. 車両、船舶などに搭載されたことによって生じた故障および損傷
6. 消耗品の交換（バックアップ電池など）
7. 製品保証書の提示がない場合
8. 製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合
9. 本製品のファームウェアのアップデートを弊社に依頼された場合

■修理によって交換された代替品、不良部品の所有権は弊社に帰属するものとします。

■製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。

■製品保証書は、日本国内のみで有効です。

■製品保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

製品保証書（６ヶ月保証）

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定（裏面）に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製品名　corega Changer KVM-8pro

シリアル番号
（S/N）

ご購入日

製品保証に関するお問い合わせ先

corega サポートセンター
TEL：045-476-6268　FAX：045-476-6294
〒 222-0033 横浜市港北区新横浜 1 - 19 - 20
受け付け時間：10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00
月～金（祝・祭日を除く）

販売店様印

※本保証書にお買い上げ販売店の記名及び押印がない場合は、有償扱いとなりますので予めご了承ください。

※製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。